

温室効果ガス排出量削減目標の見直し

●2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、中期目標となる2030年度の温室効果ガス排出量削減目標を見直し
従来の目標：2030年度までに2013年度比「29%以上削減」 → 「47%以上削減」に引き上げ

※国が表明した目標46%削減を踏まえて、対策の強化・充実を図ることにより設定（国の削減量根拠を本県に当てはめるなどにより削減見込量を算出）

〔 単位:千t-CO2 〕

排出区分		2013年 (基準年) の排出量 (a)	2018年度 (確報値)		従来目標 対基準年比 削減率	2030年度目標		(参考) 国の状況		備考
			排出量 (b)	対基準年比 削減率 (b)/(a)		排出量 (c)	対基準年比 削減率 (c)/(a)	地球温暖化対策 計画(部門別の 削減割合)	2018年実績 (対2013年度比)	
エネルギー起 源CO2	産業部門	2,653	2,471	▲6.9%	+0.2%	2,108	▲20.5%	▲38.0%	▲13.7%	現状すう勢値見直し(セメント 生産量、産振計画の目標等)
	業務その他部門	1,471	919	▲37.5%	▲47.7%	320	▲78.3%	▲51.0%	▲15.8%	
	家庭部門	1,421	854	▲39.9%	▲51.3%	310	▲78.2%	▲66.0%	▲20.0%	
	運輸部門	1,412	1,268	▲15.5%	▲19.1%	1,015	▲28.1%	▲35.0%	▲6.2%	
非エネルギー起 源CO2	廃棄物	151	152	+0.7%	▲2.6%	85	▲43.8%	▲15.0%	+2.9%	現状すう勢値見直し(廃棄物 処理計画の目標)
	工業プロセス	1,799	1,789	▲0.6%	▲16.3%	1,600	▲11.1%		▲5.1%	現状すう勢値見直し(セメント 生産量)
その他		670	720	+7.5%	▲15.5%	543	▲19.0%	▲26.7%	+12.2%	
総排出量 計(①)		(※) 9,577	8,173	▲14.7%	▲21.9%	5,980	▲37.6%			
森林吸収量・吸収率(②)		1,188	1,122	▲11.7% (※)に占める②の割合	▲6.7%	873	▲9.1%			
その他吸収量・吸収率(③)		-	-	-	-	55	▲0.6%	(率の明示なし)		国に準拠し農地土壌炭素吸収 源、都市緑化等を追加
総排出量 - 吸収量		8,389	7,051	-	-	5,052				
削減率の合計 (①+②+③)		-		▲26.4%	≒▲29%		▲47.3%	▲46.0%	▲11.4%	

(参考) 電気のCO2排出係数：2013年度 (県：0.699kg-CO2/kWh 国：0.578kg-CO2/kWh) → 2030年度 (県：0.250kg-CO2/kWh 国：0.250kg-CO2/kWh)

削減目標達成に向けた体系図

○削減目標は、58の項目・89の対策評価指標（※）達成による温室効果ガス削減量等を算定し、積み上げたもの。

（※）対策評価指標：国が削減目標を達成するために定めた指標等を、本県に当てはめて設定したもの。

（全体の削減目標は、対策評価指標のほか、国において削減量が示されている事項を踏まえて設定。）

○各対策評価指標には、県の関連施策のほか、国や市町村、民間事業者の取組が紐付く。

○関連施策の実施に加え、国の取組を積極的に活用し、県民、民間事業者、市町村等の取組を促しながら、オール高知で削減目標を達成。

